

基準9. 教育研究環境

9-1. 教育研究目的を達成するために必要なキャンパス（校地、運動場、校舎等の施設設備）が整備され、適切に維持、運営されていること。

《9-1の視点》

- 9-1-① 校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設等、教育研究活動の目的を達成するための施設設備が適切に整備され、かつ有効に活用されているか。
- 9-1-② 教育研究活動の目的を達成するための施設設備等が、適切に維持、運営されているか。

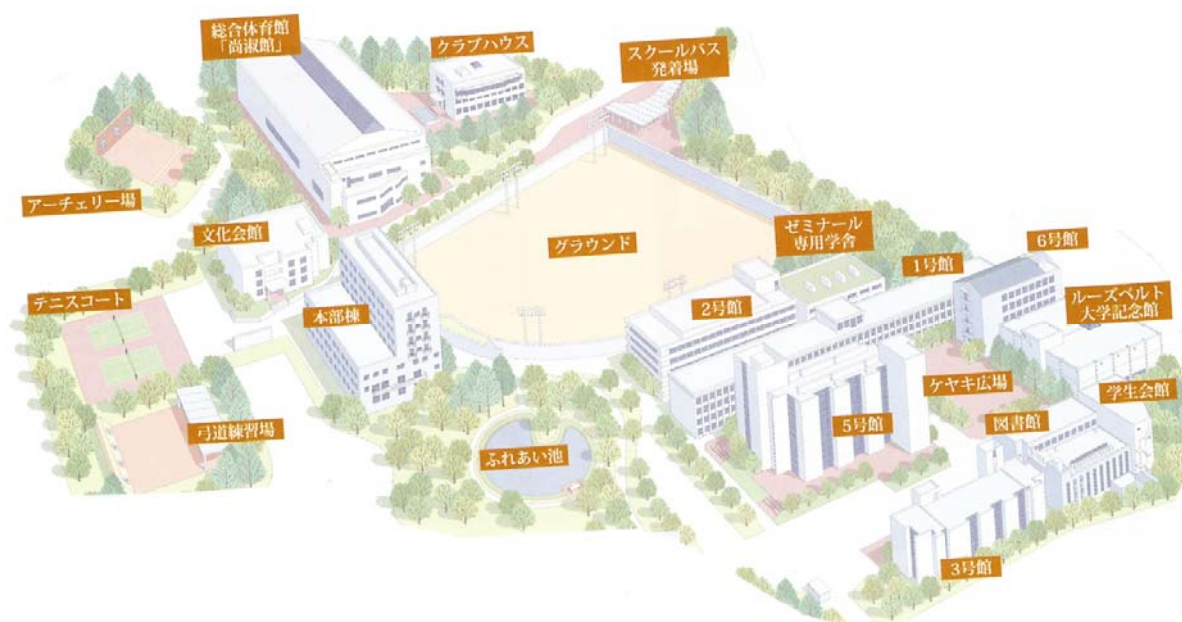
(1) 9-1の事実の説明（現状）

9-1-① 校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設等、教育研究活動の目的を達成するための施設設備が適切に整備され、かつ有効に活用されているか。

本学（花岡キャンパス）は、自然と歴史に恵まれた人口27万の八尾市に所在し、大阪平野を見下ろせる信貴山・生駒山の麓にある。所在地は大阪府八尾市楽音寺であり、最寄り駅は近鉄大阪線河内山本駅、または近鉄奈良線瓢箪山駅である。両駅から花岡キャンパスまでスクールバスを運行しており、学生及び教職員の移動の便に供している。所要時間は15分から20分である。

本学キャンパスの全容は下記のとおりである。

【花岡キャンパス 略図】



本学（花岡キャンパス及び富田林総合グラウンド）の校地面積は、【表9-1-1】のとおり、10万761㎡である。大学設置基準上必要な校地面積16,000㎡の約6.3倍の面積を有しており、活気が溢れる学生生活を過ごせるように、自然を活かした緑豊かなキャンパス環境を形成している。

花岡キャンパスには、各施設が教育ゾーン（1号館、2号館・ゼミナール専用学舎、3号館、5号館、6号館、図書館）、体育文化ゾーン（総合体育館、第1グラウンド、クラブハウス、文化会館、テニスコート、弓道場等）、福利厚生ゾーン（ルーズベルト大学記念館、学生会館等）、管理・研究ゾーン（本部棟）に分かれ、機能的に配置されている。また、西門前の学生用自転車・バイク駐輪場は、自転車約250台とバイク約300台の駐輪が可能であり、体育文化ゾーンのクラブハウス横には約50台分の学生用バイク駐輪場がある。これらの駐輪場は照明付で夜間にも対応している。

校舎等の面積は、【表9-1-2】のとおり、32,322㎡（専用）である。大学設置基準上必要な校舎面積8,759㎡の約3.7倍の面積を有しており、各種教室をはじめ、様々な教育研究活動を展開するための施設設備を備えている。講義室等の教室数については、現在69教室あり、在学生数に比して余裕のある数字となっている。演習室・講義室の主な設備等は、【表9-1-3】に示すとおりである。

図書館は、学生にとって利用しやすい教育ゾーンにある。面積は2,895.4㎡であり、閲覧室は469席である。蔵書は2009(平成21)年度末で34万1,738冊、受け入れ雑誌類は1,076タイトル（内洋雑誌122タイトル）、視聴覚資料は1,856点を所蔵している。2009(平成21)年度の図書館利用状況は、入館者数15万7,895人、貸出人数11,647人、貸出冊数20,221冊となっている。開館時間は平日午前9時から午後8時まで、土曜日は午前9時から午後1時までである。また、Webでの蔵書検索が可能であり、AVブース12席を設置して、DVD、ビデオ等の視聴覚資料の視聴が可能である。

エクステンションセンターは、2号館1階に置かれ、専属講師とスタッフが配属されている。そこには、各種資格参考書・DVD・資格雑誌や講座資料等を揃え、パソコンコーナー、ビデオコーナー、グループ学習室等が設けられている。さらに、2号館3階には、66席のエクステンションセンター自習室を設け、平日午前9時から午後8時まで、土・日・祝日は午前9時から午後6時まで、利用が可能である。その他にも、1号館に自習室1室（20席）、語学自習室1室（20席）、グループ学習室4室（各30席）、ゼミナール専用学舎に自習室2室（各8席）、6号館に学生用ラウンジ（PC自習室、89席）等がある。

体育施設としては、総合体育館、第1グラウンド（照明付・1面）、テニスコート（照明付・2面）、弓道場、アーチェリー場がある。第1グラウンドは、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール、陸上競技の練習等に使用される多目的グラウンドである。総合体育館は、バスケットコートが3面取れる2階アリーナや3階観覧席、1階には卓球・剣道・空手等の各種体育室、トレーニングルーム等を備えている。これらの施設設備は、課外活動や正課の体育授業等で活用される。また、花岡キャンパスからマイクロバスで片道約35分の距離にある富田林総合グラウンド（野球練習場、管理棟他）は、野球部等が課外活動で活用している。

情報ネットワーク環境として、1997(平成9)年、高速大容量の総合情報ネットワークシ

大阪経済法科大学

システム(NICE)が構築され、逐次更新・整備されている。ネットワークの基本構成は、インターネット接続、学内 LAN、無線 LAN となっており、教育研究の基本的機能を担っている。学内 LAN は学内全域、無線 LAN は教室・会議室等（演習室 5 室、グループ学習室 4 室、会議室 4 室、事務室 2 室）に整備されている。教育研究用システムとして、学生用ポータルサイト、e ラーニングシステム、学習管理システムなどを整備しており、Web サイト上の自習環境や各種サービスを提供している。学内 LAN に接続された教育研究用コンピュータの設置状況は、【表 9-1-4】のとおりである。

花岡キャンパスにスクールバス発着場を設け、最寄り駅である近鉄大阪線河内山本駅及び近鉄奈良線瓢箪山駅との間に 11 台のスクールバス（無料）を運行している。1 日の平均運行本数は約 210 本で、平均利用者数は約 2,500 人である。

花岡キャンパスや富田林総合グラウンドのほかに、【表 9-1-4】に示すとおり、諸施設が配置されている。

【表 9-1-1 校地・校舎面積】

校地面積		設置基準上必要な面積
校舎敷地	8,425 m ²	16,000 m ²
運動場用地	29,739 m ²	
その他（スクールバス発着場、ふれあい池、体育館・クラブハウス等）	62,597 m ²	
合計	100,761 m ²	
校舎面積		設置基準上必要な面積
1号館	6,384 m ²	8,759 m ²
2号館・ゼミナール専用学舎	4,803 m ²	
3号館	2,184 m ²	
5号館	4,997 m ²	
本部棟	7,291 m ²	
図書館	2,895 m ²	
6号館	2,016 m ²	
文化会館	72 m ²	
ルーズベルト大学記念館	1,389 m ²	
学生会館	282 m ²	
守衛室	9 m ²	
計	32,322 m ²	

大阪経済法科大学

【表 9 - 1 - 2 校舎等の概要】

区分	階数	現況
1号館	4階	教務課、国際部、学習支援センター、自習室、グループ学習室、教員控室、学会事務室、模擬法廷、講義室他
ルーズベルト 大学記念館	2階	大食堂、ATM コーナー、コンビニエンスストア他
学生会館	4階	出版部書店、レストラン他
図書館	4階	図書閲覧室、マルチメディア閲覧室、グループ閲覧室、視聴覚ルーム、PC コーナー、AV ブース、自習室、事務室他
2号館 ゼミナール専用 学舎	5階	演習質、講義室、エクステンションセンター、グループ学習室、会議室、マルチメディア教室、視聴覚教室、自習室他
3号館	4階	語学教室、演習室他
5号館	7階	大講義室他
6号館	5階	学生 PC ラウンジ、コンピュータ実習室、PC ゼミ室、IT ラボ他
総合体育館	3階	アリーナ、ステージ、体育室、トレーニング室、医務室、シャワー室、観覧席他
文化会館	3階	文化会本部、文化会部室、食堂他
クラブハウス	3階	体育会実務センター、体育会部室、浴室、シャワー室、多目的室、宿泊室他
本部棟	7階	就職課、学生課、医務室、学生相談室、入試課、情報科学センター、庶務課、管財課、会計課、理事長室、学長室、会議室、研究室、研究所事務室他

大阪経済法科大学

【表 9 - 1 - 3 演習室・講義室施設概要】

棟名	教室番号	収容人数 (最大数)	マイク 設備	PJ/ スクリーン	TV	PC	DVD	ビデオ	CD	カセット
1号館	1301～1303、 1305～1307	36								
	1308、1310、 1311	132	○	○		○	○		○	
	1401～1403、 1405	240	○							
2号館	2202	108	○							
	2301	123	○	○		○	○		○	
	2401	123	○							
	2402	123	○	○		○	○		○	
	2501	123	○							
	2502	123	○	○		○	○		○	
ゼミナ ール 専用 学舎	S201～S203、 S205、S206	30		○		○	○		○	
	S301～S303、 S305、S306	30								
	S401～S403、 S405、S406	30								
	S501～S503、 S505、S506	30								
3号館	3100、3105	24			○	○	○	○	○	○
	3101～3103	45			○	○	○	○	○	○
	3200	24			○	○	○	○	○	○
	3201～3203、 3205	45			○	○	○	○	○	○
	3300～3303、 3305	24			○	○	○	○	○	○
	3400～3403、 3405	54			○	○	○	○	○	○
5号館	5100	248	○	○		○	○	○	○	
	5200	302	○	○		○	○	○	○	
	5300～5700	500	○	○		○	○	○	○	
6号館	6500	123	○	○		○	○	○		

【表 9-1-4 教育研究用コンピュータの設置状況】

区分（設置場所等）	設置台数
コンピュータ教室設置用 （6200、6300、6401、PCゼミ室、2201）	225
教卓用（各講義室）	19
学生自習用 （学生 PC ラウンジ、図書館、その他）	149
学生貸出用（ノートパソコン）	113
研究用（各研究室等）	75
事務用（各事務室等）	152
計	733

【表 9-1-5 花岡キャンパス・富田林総合グラウンド以外の施設概要】

区分	現況
菅平グラウンド	ラグビー練習場、テニスコート他（土地面積 23,335 m ² ）
阪南キャンパス	野球練習場、ラグビー練習場、管理棟、宿泊棟他 （土地面積 240,862 m ² ）
東京麻布台セミナーハウス	セミナー室、会議室、宿泊室他（建物延面積 1,579 m ² ）
琵琶湖セミナーハウス	セミナーハウス、テニスコート他（土地面積 7,702 m ² ）
I.S.D.花園	留学生寮（建物延面積 1,637 m ² ）
I.S.D.布施	留学生寮（建物延面積 1,530 m ² ）

9-1-② 教育研究活動の目的を達成するための施設設備等が、適切に維持、運営されているか。

施設設備等の維持・運営は、所管部署である管財課が担当している。物件の管理単位及び管理担当者は、「固定資産及び物品調達管理規程」に定められており、組織的に日常的な維持・運営を行っている。教室設備は管財課、教務課及び情報科学センター等が、課外活動施設は管財課と学生課等とが連携して維持・運営する。

学内清掃業務及び維持・管理業務（樹木、電気、電話回線、浄化槽、防火・消防設備、エレベーター設備）は、専門業者へ委託し、関連法令に則って行われている。

また、大学協議会の特別委員会である施設環境整備委員会において、施設設備等に関する整備計画及び利用計画等の検討が行われている。

（2）9-1の自己評価

教育目的を達成するために必要なキャンパスが整備され、良好な教育研究環境を備えている。

教育研究活動の目的を達成するための施設設備整備計画等の実施をはじめ、施設設備等について、適切に維持・運営されている。創立 40 周年を迎える本学が、今後の教育研究活動の展開と飛躍に向けて、大規模なキャンパス整備計画を推進していることは評価できる。

(3) 9-1の改善・向上方策(将来計画)

「キャリア形成教育の充実」「プロフェッショナルの育成」「高度情報化社会への対応」「地域との連携による社会貢献」を掲げて、2012(平成 24)年新春の開校を目指し、近鉄大阪線八尾駅から徒歩 5 分の敷地に八尾駅前キャンパスの建設計画を進めている。八尾駅前キャンパスは、「いつでも」「どこでも」情報ネットワークを利用して ICT を活用しうる設備を設え、少人数教育の徹底を重視した各種の教室をはじめ、図書館分館、カフェ・ラウンジ、教員室、事務室、会議室等を備えた総合校舎を持つ都市型キャンパスであり、2010(平成 22)年 10 月の工事着工を予定している。

花岡キャンパスにおいては、学生本位のキャンパス空間の創造に向け、2011(平成 23)年 2 月開設予定の新学生ホール棟(仮称)新築工事を行っている。また、図書館(2009(平成 21)年度に耐震改修工事を実施)、3号館(2010(平成 22)年度に耐震改修工事実施を計画)等の既存施設に対して、中長期的な計画の下で耐震補強を含むリニューアル工事を進めている。

現在、花岡キャンパスと八尾駅前キャンパスとの間をスクールバスで連結する(約 20 分)計画であり、本学における今後の教育研究活動を支える基盤構築として、両キャンパスそれぞれの特性を活かしたキャンパス整備計画を推進している。

9-2. 施設設備の安全性が確保されていること。

《9-2の視点》

9-2-① 施設設備の安全性(耐震性、バリアフリー等)が確保されているか。

(1) 9-2の事実の説明(現状)

本学は 2006(平成 18)年に、耐震診断を必要とする花岡キャンパスの建物 7 棟すべての診断を実施した。その結果課題があるとされた建物について、中長期的な計画の下で対応を行っている。2009(平成 21)年度に図書館に対する耐震補強工事を終え、2010(平成 22)年度には 3 号館の耐震改修事業を実施する。その他の施設の安全性確保については、9-1 に述べたリニューアル工事の中で行われる予定である。

施設設備面のバリアフリー化に向けて、点字ブロック盤、スロープ、手摺り、多目的トイレ、エレベーター内音声案内装置の設置、図書館の出入口扉の自動化等を実施してきた。また本学は、バリアフリー委員会及びバリアフリールームを設置し、授業支援、キャンパス内移動時の支援のために人員を確保するなど、人的支援体制を整備してきた。

施設設備等の安全管理に関しては、管財課が各部署と連携して、法令に基づく点検等を行い、学生や教職員、来訪者の施設利用における安全性を確保している。

(2) 9-2の自己評価

既存施設に対する中長期的なリニューアル計画の下で、耐震性に課題のある施設に対して耐震補強等の計画を進めていることは評価できる。引き続き改築や耐震改修等の計画を進め、施設の安全性確保を図る。

キャンパス内において、施設設備・人的支援面での整備により、一定のバリアフリー化

を達成していることは評価できるが、今後、スロープの整備・拡充や多目的トイレの増設等、更なる改善を図る必要がある。

(3) 9-2の改善・向上方策（将来計画）

既存施設に対する中長期的なリニューアル計画の下で、安全性を確保するため、改築や耐震改修工事等を引き続き実施していく予定である。

スロープの整備や多目的トイレの増設等、引き続きキャンパスにおけるバリアフリー化を進める。

9-3. アメニティに配慮した教育環境が整備されていること。

《9-3の視点》

9-3-① 教育研究目的を達成するための、アメニティに配慮した教育研究環境が整備され、有効に活用されているか。

(1) 9-3の事実の説明（現状）

本学は、活気が溢れ、居心地の良い教育研究環境を整備するため、自然環境を活かしたキャンパス内の緑化を進めている。「ふれあい池」は、地域住民にも日常的な憩いの場として開放されており、絶滅危惧種であるニッポンバラタナゴの保全活動等も行っている。

教育ゾーンの中央にあるケヤキ広場は、テーブルベンチ 24 台が設置され、学生の休憩・談話に利用されている。屋外にはほかにも、テーブル、イスを設けたウッドデッキテラス、ベンチ等が設置され、学生にくつろぎの場所を提供している。

ルーズベルト大学記念館 2 階には、学生ラウンジ(200 席)を設けている。また、「キャンパスレストラン」(300 席)、「プラザエル」(80 席)、「OEL」(133 席)が、食堂として学生・教職員に利用されている。その他、「厚生会コンビニエンスストア」及び出版部による書籍販売店があり、学内 9 箇所に 24 台の自動販売機が設置されている。

本学では、建物内を全面禁煙とし、喫煙場所を限定している。受動喫煙による健康被害を防止し、学生・教職員の健康なキャンパス作りに努めている。

(2) 9-3の自己評価

自然環境に恵まれた立地環境を活かしながら、アメニティに配慮した教育環境が整備されている。

食堂のメニューや物販の品揃えなどが必ずしも学生の希望に添わず、今後、改善工夫が望まれる。

(3) 9-3の改善・向上方策（将来計画）

9-1 で述べた建設中の新学生ホール棟（仮称）は、3 階建て、延床面積 1,690.6 m² であり、1 階が 200 席程度を備えた開放的なキャンパスレストラン、2 階が自学自習や休憩、談話に利用できるカフェ・ラウンジ（デスクトップパソコン設置、館内無線 LAN の下でノートパソコン利用可能）、3 階が発表会や講演会、コンサート、映画会等に使用できる

プレミアムホール、屋外デッキテラスになっている。それは学生にとって上質なアメニティになるとともに、学生生活を充実させる交流、学習、休憩の場としての活用が期待される。また、それに続く八尾駅前キャンパスの開校により、学生の交通アクセスの利便性が飛躍的に高まるとともに、学生生活上の多様なニーズに対応した周辺環境を得ることができ、学習環境の充実が見込まれる。

【基準9の自己評価】

本学の校地・校舎は大学設置基準を満たし、教育目的を達成するために必要なキャンパスが整備されており、適切に維持・運営されている。

創立40周年を迎える中で、既存施設の老朽化や耐震性の課題に対して、建て替えや耐震改修等の事業に着手しており、評価できる。

こうしたキャンパス整備計画の過程で、教育目的の達成に必要な施設設備の機能向上を一層進めるとともに、バリアフリーの拡充、学生の満足度を高めるためのアメニティ環境の充実等を更に図っていることは評価できる。

【基準9の改善・向上方策（将来計画）】

八尾駅前キャンパスの開校及び花岡キャンパスにおける新学生ホール棟（仮称）の開設をはじめとしたキャンパス整備計画の推進により、本学は、学生にとって居住性と利便性が高く、優れた教育効果を発揮することのできる教育研究環境の実現を図る。